

平成 31 年度 家庭科 第 1 学年 学習指導・評価計画

- 1 家庭科の学習指導のねらいおよび目標
第 1 学年では「食生活の自立」「住生活の自立」について学びます。「食生活の自立」では、食品の栄養的特徴や表示、食品添加物などに関心を持ち、1 日分の献立を工夫して作成できるようになりましょう。また、調理技術を習得していきます。「住生活の自立」では、家庭内で安全に暮らすための室内環境の工夫、住まいの問題点を改善する方法を考えていきましょう。
- 2 家庭科術の学習で大切なこと
1 時間 1 時間の授業を大切にしてください。
- 3 思考力・判断力・表現力を高めるには
家庭科のワークシートでは、自分の考えを記入する機会があります。周りの人と話し合いをする時間も設けていますので、他の人の考えを聞き書くことで、自分の考えを深めてください。
- 4 家庭学習の進め方
自分の生活に興味をもって、生活していきましょう。
- 5 評価について
ワークシート、実習、課題、定期考査などが評価対象となります。

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
①興味・関心・態度	衣食住や家族の生活について関心を持ち、家庭生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用しようとする。
②工夫し、想像する能力	衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけその解決を目指してよりよくするために工夫し創造する。
③生活の技能	生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技術を身につけている。
④知識・理解	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身につけている。

◇年間指導（学習）・評価計画 （35 時間）

学期	領域 単元	学習内容	評価の 観点	評価規準または 基準	評価の 方法 評価材料
一 学 期	食 生 活 と 自 立	ガイダンス（1） 健康と食生活（7） ・食事の役割について考える ・生活習慣と食事 ・中学生に必要な栄養素 ・食品と栄養素 ・食事の計画 食品の選択と保存（8） ・生鮮食品と加工食品 ・食品の表示 ・食品の選択と購入と保存 ・食品の安全と情報	①	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割や健康とのかかわりについて関心をもつ ・食品に含まれる栄養素や働きについて意欲的に学ぼうとしている ・食品の栄養的特徴に関心を持ち、献立作成に意欲的に取り組んでいる ・食品の表示について関心をもつ ・食品の保存について関心をもつ ・食品添加物について関心をもつ ・日常食の調理に関心を持ち、調理技術を習得しようとしている ・課題に関心を持ち、計画作りや実践に取り組もうとしている ・食生活を取り巻く問題に関心を持ち、食生活をよりよくしようとしている 	ワークシート 課題 定期考査 実習

<p>二学期</p>		<p>調理をしよう（10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理の計画 ・調理の基本 ・肉の調理 ・魚の調理 ・野菜の調理 <p>地域の食材と食文化（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材と郷土料理 ・受け継がれる食文化 	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活を点検し、課題をみつけ、食習慣などについて工夫することができる ・学習した知識を活用して1日分の献立作成を工夫している ・安全や衛生に気をつけて実習をしようとしている ・加工食品の利用方法を考えることができる ・自分の食事内容についてよりよくするための工夫ができる ・食生活をよりよくするための課題の解決を目指して日常食や地域の食材を生かした調理などの計画を工夫している <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活を栄養的特徴から点検することができる ・食品や調理器具を安全に扱うことができる ・食品についているマークなどについて調べる ・表示を見て、使用目的に応じた食品の選択と購入ができる ・食品添加物についての知識を生かし、適切に食品を選択できる ・肉を調理することができる ・魚を調理することができる ・野菜を調理することができる <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類とはたらきについて理解している ・食品の栄養的特徴により食品を食品群に分類することができる ・1日分の献立作成に必要な基礎的な知識を身に付けている ・生鮮食品や加工食品の特徴を理解している ・食品の調理上の性質について理解している ・食品の表示やマークの意味を理解している ・加工食品を選ぶときの観点を理解している ・食品添加物の種類や使用目的、安全性と問題点などについて理解している ・食品の調理上の性質について理解している。 	
<p>三学期</p>	<p>住生活と自立</p>	<p>住まいとはたらき（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの様々な役割 ・共に住まう <p>健康で安全な住まい（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の健康と室内環境 ・家庭内の安全 <p>住まいと地域（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害への備え ・災害時の住まいと暮らし ・地域に配慮した住まい方 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいについて関心をもつ ・家族と住まいのかかわりに関心をもつ ・安全な室内環境に関心をもつ <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族と住まいのかかわりを考え、暮らし方による住まい方を工夫することができる ・家庭内で安全に暮らすための室内環境を工夫することができる <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居のはたらきについてまとめることができる ・健康で心地よく住むための室内環境の条件をまとめることができる ・自分の住まいの問題点を見直し具体的に改善する方法を考えることができる <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活行為と住空間の関係を理解している ・健康で心地よく住むための室内環境の条件を理解している 	<p>ワークシート 課題 定期考査</p>

平成 31 年度 家庭科 第 2 学年 学習指導・評価計画

- 1 家庭科の学習指導のねらいおよび目標
 第 2 学年では主に「衣生活の自立」について学びます。「衣生活の自立」では衣服のはたらきや日常着の手入れに関心を持ち、個性を生かすコーディネートや衣服の選び方の工夫ができるようになりましょう。また、ミシンの基本操作の技術を身につけ、衣服の製作に取り組みましょう。「家族・家庭と子どもの成長」では、家庭生活に関心をもつと同時に、地域とのかかわりについて理解していきましょう。また、これからの家庭生活をよりよくする工夫を考えていきます。
- 2 家庭科術の学習で大切なこと
 1 時間 1 時間の授業を大切にしてください。
- 3 思考力・判断力・表現力を高めるには
 家庭科のワークシートでは、自分の考えを記入する機会があります。周りの人と話し合いをする時間も設けていますので、他の人の考えを聞き書くことで、自分の考えを深めてください。
- 4 家庭学習の進め方
 自分の生活に興味をもって、生活していきましょう。
- 5 評価について
 ワークシート、作品、課題、定期考査などが評価対象となります。

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
①興味・関心・態度	衣食住や家族の生活について関心を持ち、家庭生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用しようとする。
②工夫し、想像する能力	衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけその解決を目指してよりよくするために工夫し創造する。
③生活の技能	生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技術を身につけている。
④知識・理解	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身につけている。

◇年間指導（学習）・評価計画 （35時間）

学 期	領域 単元	学習内容	評価の 観点	評価規準または 基準	評価の方法 評価材料
一 学 期	衣 生 活 と 自 立	日常着の活用（7） ・自分らしくコーディネート ・衣服のはたらき ・衣服の構成	①	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはたらきに関心をもつ ・衣服の選択について関心をもつ ・衣服材料の特徴に興味をもつ ・既製服の表示に関心をもつ ・日常着の手入れや補修に関心をもち意欲的に学習に取り組んでいる ・自分の衣生活を振り返ることができる ・衣服や衣服の構成に関心をもつ ・衣服の製作に意欲的に取り組んでいる 	ワークシート 製作プリント 作品 実技テスト 定期考査
		日常着の手入れ（7） ・衣服の汚れ ・衣服の素材と手入れ ・衣服の洗濯 ・衣服の収納保管 ・衣服の補修			
二 学 期		布を用いた物の製作(16) ・ハーフパンツ製作	②	<ul style="list-style-type: none"> ・個性を生かすコーディネートを工夫することができる ・衣服の選び方を工夫することができる ・衣服を長く着用するための工夫を考える ・環境に配慮した洗濯の方法が考えられる ・環境や資源に配慮した衣生活を送るた 	

			<p>めの工夫を考えられる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作を計画的に進められよう工夫している <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性を生かすコーディネートを考えることができる ・衣服の購入のポイントをまとめることができる ・衣服の汚れに応じた手入れを調べることができる ・適切な衣服の手入れや補修ができる ・不用になった衣服の活用を具体的に考えられる ・正しい方法で採寸できる ・製作計画を立てて安全に衣服を製作することができる ・ミシンの基本的操作を行うことができる <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の仕事の種類と流れを理解する ・衣服の社会生活上のはたらきを理解する ・色や柄による印象のちがいを理解する ・既製服の選択と表示について理解する ・手入れの必要性やその方法がわかる ・衣服の洗濯の方法がわかる ・衣服の基本的な構成を理解している ・資源や環境に配慮した衣生活について理解する ・洋服や和服の特徴や採寸の方法などがわかる ・衣服の製作に関する知識を身に付けている ・ミシンに関する知識を身に付けている 	
三学期	家族・家庭と子どもの成長	<p>わたしたちと家族・家庭と地域（５）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭のはたらき ・家庭の仕事を支える社会 ・わたしたちの家庭生活と地域 ・わたしの成長をたどる 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と家族関係について感心をもって学習活動に取り組み、家庭生活をよりよくしようとしている ・家庭生活と地域との関わりに関心をもつ ・これからの自分と家族との関わりに関心をもち、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と家族関係について課題を見付け、その解決を目指して工夫している <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域とのかかわりについて理解している ・家庭や家族の基本的な機能について理解している ・家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを理解している ・自分の生活や事例の家族について課題を見付け、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫している 	ワークシート 課題 定期考査

平成 31 年度 家庭科 第 3 学年 学習指導・評価計画

- 1 家庭科の学習指導のねらいおよび目標
第 3 学年では主に「身近な消費生活と環境」「家族・家庭と子どもの成長」について学びます。「身近な消費生活と環境」では、消費生活に関心をもち、消費者問題を通して自分の消費生活を見直すことができるように学習していきましょう。また、「家族・家庭と子どもの成長」では、幼児にとっての遊びの意義を理解し、幼児の生活に役立つものを計画的に製作しましょう。
- 2 家庭科の学習で大切なこと
隔週の授業になります。1 時間 1 時間の授業を大切にしてください。
- 3 思考力・判断力・表現力を高めるには
家庭科のワークシートでは、自分の考えを記入する機会があります。周りの人と話し合いをする時間も設けていますので、他の人の考えを聞き書くことで、自分の考えを深めてください。
- 4 家庭学習の進め方
自分の生活に興味をもって、生活していきましょう。
- 5 評価について
ワークシート、作品、課題、定期考査などが評価対象となります。

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
①興味・関心・態度	衣食住や家族の生活について関心をもち、家庭生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用しようとする。
②工夫し、想像する能力	衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけその解決を目指してよりよくするために工夫し創造する。
③生活の技能	生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技術を身につけている。
④知識・理解	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身につけている。

◇年間指導（学習）・評価計画 （17.5 時間）

学 期	領域 単元	学習内容	評価の 観点	評価規準または 基準	評価の方法 評価材料
一 学 期	身 近 な 消 費 生 活 と 環 境	家庭生活と消費（0.5） ・消費生活のしくみ 商品と選択と購入（2） ・商品購入のプロセス ・生活情報の活用 ・購入方法と支払い方法 よりよい消費生活のために（4） ・契約と消費生活のトラブル ・消費者を支えるしくみ	① ②	・消費生活に関心をもっている ・商品の上手な購入の仕方に関心を持っている ・消費者保護についてや法律や制度について関心をもっている ・商品の購入の失敗例からトラブルを解決するための方法を工夫している ・消費者の権利や消費者保護の制度や法律を理解し、自分の生活にいかす工夫をしている	ワークシート 課題 定期考査

		<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任 	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの値段がちがう理由を考えることができる ・いろいろな販売方法の利点や問題点をまとめることができる ・消費者問題を通して自分の消費生活を見直すことができる <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物資やサービスについて理解している ・さまざまな販売方法や支払い方法の特徴を理解している ・さまざまな悪質商法について理解している ・消費者の基本的な権利と責任について理解している 	
<p>二学期</p>	<p>家族 ・家庭と子ども の成長</p>	<p>幼児の生活と遊び（9）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしの成長をたどる ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の心身の発達と家族の役割 <p>・子どもの成長と地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊びと発達 ・幼児の遊びを支える <p>幼児とのふれあい（1）</p> <p>これからのわたしと家族（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生と家族とのかかわり ・これからのわたしと家族との関係 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の体の発育や運動機能の発達に関心をもっている。 ・幼児の心の発達に関心をもっている。 ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えようとしている ・幼児の生活に役立つものの製作に意欲的に取り組んでいる <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児に基本的な生活習慣を身に付けさせる方法や家族の接し方について考え、工夫している ・幼児の生活に役立つ物の製作について工夫したり考えたりしている <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心の発達や生活習慣の学習を通して自分を見つめることができる ・幼児の生活に役立つものを計画を立てて作ることができる <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長や生活は家族や身近な人びとに支えられてきたことに気づいている ・幼児にとっての遊びの意義を理解している ・幼児の遊びにとっての遊び道具の役割を理解している ・幼児の体の発育や運動機能の発達、ことば、情緒、社会性などの心の発達の特徴を理解している ・基本的、社会的な生活習慣の内容を理解している 	<p>ワークシート 制作プリント 課題 作品</p>
<p>三学期</p>				